

仏の里の絶品

キウイフルーツ



園 農政課 園芸畜産係
☎72-5167

県内一のキウイ産地「国東」

古くから六郷満山文化が花開き、「仏の里」と呼ばれる国東市。実は県内一のキウイフルーツ（以下、キウイ）の産地でもあることをご存じですか。

国東半島は戦後、国や県の事業（パイロット事業）で山々を開墾し、盛んにミカンを植えていた時期がありました。やがて価格下落によりミカン栽培の経営環境が難しくなる中、転換作物の一つとして選ばれたのがキウイです。市内では昭和50年代に本格的に栽培が始まり、当時は国内一の栽培面積を誇る産地になりました。

市は、県や農協と連携して、キウイ栽培の振興に取り組んでいます。皆さんも、「仏の里」の絶品キウイをぜひ召し上がってみてください。



園地を継いで
国東のキウイを
盛り上げたい
です (実花さん)

栽培知識を伝えて
後進を育成したい
です (信幸さん)



生産者インタビュー

やみつき になる 濃厚な 甘酸っぱさ

JAおおいた東部キウイフルーツ部会
部会長
谷部 信幸 さん (国東町下成仏)

信幸さんのキウイ園地を手伝う
谷部 実花 さん

に至ります。

谷部信幸さんは13年前に国東に帰郷し、両親のキウイ園を継ぎました。JAおおいた東部キウイフルーツ部会の部会長を務め、業界の発展に貢献しています。

キウイ生産者の先頭に立って栽培に励む谷部信幸さんと、昨年からの栽培を手伝っている信幸さんの長男の妻の実花さんに話をお聞きました。

信幸さん

実家の園地に加えて、引退した他の生産者からも園地を借り受け、キウイの栽培面積は90アールになりました。祖父は国東でキウイ栽培を始めた初期の生産者の一人で、父、私と園地を受け継いで今

キウイの栽培は親から聞いて覚えました。きちんと実が付くように、特に授粉作業には気を使っています。これまでに栽培にかかわってきた実感として、そんなに栽培は難しくなかないと思います。キウイは価格が安定しており、ちゃんと作ればちゃんと収入になります。大きな農機具も必要ないし、体もそこまできつくないですね。



「くにさきキウイ学校」で果実の収穫方法を実演する谷部さん。



キウイの主な品種

国内で栽培されているキウイの主な品種は、ヘイワード、サンゴールド、香緑などです。国内で最も栽培されている品種はヘイワードで、国東のキウイも本品種です。ヘイワードの特徴は、果肉は緑色で、しっかりとした甘みに加えて、ほどよい酸味があることです。キウイの本場ニュージーランドで栽培が盛んなサンゴールドは果肉が黄色で、酸味が少なく、強い甘みが特徴です。

キウイの栄養

キウイには食物繊維やビタミン、カリウムなど、さまざまな栄養素を含んでいます。特にビタミンCが豊富で、キウイ1個で1日に必要なビタミンCをほとんど取ることができます。たんぱく質を分解する酵素も多く含んでいるので、肉や魚料理の後のデザートにもおすすめです。



国東で栽培されているヘイワード種

キウイの食べ頃

店頭で販売されているキウイは、少し硬いことがあります。常温保存で数日寝かせ、軽く握った時に少し柔らかさを感じたら食べ頃です。皮はむかずに半分に切り、スプーンですくってお召し上がりください。



農がしやすい環境を整えていきたいです。

実花さん

子育てが落ち着いて仕事を探している時、ちょうど義父から「キウイ栽培やらん？」と声がかかったんです。面白そう、ぜひやってみようと思いました。私は国東高校園芸ビジネス科の卒業生で果樹の栽培経験があったので、前から農業に興味がありました。義父の作業を手伝いながら、市が募集していた「くにさきキウイ学校」にも通い、栽培の基礎を学びました。国東のキウイは本当においしいですよ。やみつきになる濃厚な甘酸っぱさが絶品です。国東のキウイを盛り上げるためにも、将来は夫と一緒にキウイ園地を継ぎたいです。